

コード	10302
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	安全で快適な道路整備
--------	------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	しまを支える交通基盤づくり

課コード	118	関係課名	
主管課名	土木課		

基本事業の目的

歩道の整備や交通安全施設の設置と共に道路の拡幅舗装等の整備を行い安全な道づくりにより、便利で安全な住民生活と円滑な経済活動の確保及び住民福祉の向上を図る。

基本事業の成果

成果指標名称 1	町道の改良率（車輛交通可能区間）	成果指標名称 2	歩道の設置延長（町道）
成果指標の積算根拠	改良済道路延長÷道路総延長	成果指標の積算根拠	整備済歩道延長÷歩道整備計画総延長
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	73.0%	目標達成数値	15,114 m

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	%	58	54	57	61	64
	実績 B		%	51	51	63	64	
	達成率 B/A		%	87.3	93.9	110.3	104.9	
成果指標 2	目標 A	単位	m	6,797	7,450	7,802	8,162	8,523
	実績 B		m	7,091	7,148	7,303	7,517	
	達成率 B/A		%	104.3	95.9	93.6	92.1	

1次評価	現状	財政が厳しい中ではあるが、道路の改良は計画的に執行されている。しかし、未改良路線も多く、事業を施行するうえで、多額の事業費が必要となる。
	課題	事業を施行するうえで、多額の事業費が必要となる。また、所有権移転の登記が難しいものや利用率、経済効果等の低い道路の計画が残っている。
	改善	用地取得等がスムーズな路線を計画的に整備していくとともに、利用率、経済効果等を検討し、事業の中止や廃止、コスト縮減等の見直しを行い合理化を図る。

2次評価	道路の整備は、真に必要な整備を計画的に行い、事業の優先順位については、全体的なバランスも考慮し必要度について判断すること。また、費用対効果の検討は当然必要となるが、高齢者、障がい者、児童にやさしい「福祉のまちづくり」を考慮した検討も関係課と協議し、景観等にも配慮すること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	103020102	町道冷水部落内線新設事業	土木課	30,800千円	(途中) このまま事業を継続
2	103020103	町道中ノ浦1・2号線改良事業	土木課	10,977千円	(途中) このまま事業を継続
3	103020104	町道川向小河原線新設事業	土木課	5,099千円	(途中) このまま事業を継続
4	103020105	町道曽根泊崎線新設事業	土木課	5,951千円	(途中) このまま事業を継続
5	103020106	町道神ノ浦佐野原線改良事業	土木課	15,900千円	(途中) このまま事業を継続
6	103020107	町道浜ノ浦飯ノ瀬戸線改良事業	土木課	10,300千円	(途中) このまま事業を継続
7	103020109	町道七目8号線改良事業	土木課	8,582千円	(途中) このまま事業を継続
8	103020101	町道有川9・10号線改良事業	土木課	15,556千円	(事後) 平成24年度で事業完了
9	103020108	飯ノ瀬戸地区道路新設事業	土木課	3,148千円	(事後) 平成24年度で事業完了
10	103020110	町道宮田3・7号線改良事業	土木課	3,553千円	(事後) 平成24年度で事業完了
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				109,866千円	